



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月30日

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8103 URL https://www.meiwa.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 松木 宏道 (TEL) 03-3240-9534
 定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	158,279	1.0	2,970	△18.7	4,032	27.2	2,754	60.1
2023年3月期	156,662	9.5	3,655	7.5	3,169	△7.1	1,720	△28.5

(注) 包括利益 2024年3月期 4,027百万円(40.1%) 2023年3月期 2,875百万円(△25.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	66.09	—	7.5	4.9	1.9
2023年3月期	41.21	—	4.8	4.0	2.3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 605百万円 2023年3月期 △1,140百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	85,355	38,783	44.9	921.98
2023年3月期	80,725	35,922	43.9	849.44

(参考) 自己資本 2024年3月期 38,306百万円 2023年3月期 35,475百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,657	△202	△4,346	9,528
2023年3月期	4,065	804	△1,723	8,352

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	1,044	60.7	2.9
2024年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00	1,417	51.4	3.8
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	32.00	32.00		50.2	

(注) 配当金総額には、業績連動型株式報酬制度に係る株式交付信託が保有する当社株式に対する配当金(2024年3月期4百万円)を含めております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	4.9	2,900	△2.4	3,800	△5.8	2,600	△5.6	63.79

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	41,780,000株	2023年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	232,415株	2023年3月期	16,987株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	41,676,869株	2023年3月期	41,763,104株

(注) 2024年3月期第1四半期連結会計期間より、業績連動型株式報酬制度を導入しております。期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、当該制度に係る株式交付信託の保有する当社株式129,200株を含めて記載しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	100,921	△1.8	1,527	△15.2	3,067	△19.7	2,410	△18.6
2023年3月期	102,794	13.7	1,801	44.1	3,818	87.4	2,960	56.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	57.85	—
2023年3月期	70.88	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	53,269	19,442	36.5	467.95
2023年3月期	53,888	18,558	34.4	444.37

(参考) 自己資本 2024年3月期 19,442百万円 2023年3月期 18,558百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の売上高は、1,582億7千9百万円と前年同期の1.0%にあたる16億1千6百万円の増収、営業利益は29億7千万円と前年同期の18.7%にあたる6億8千5百万円の減益、経常利益は40億3千2百万円と前年同期の27.2%にあたる8億6千2百万円の増益となり、親会社株主に帰属する当期純利益については、27億5千4百万円と前年同期の60.1%にあたる10億3千3百万円の増益となりました。

これらの結果、当連結会計年度の1株当たり当期純利益は66.09円、自己資本当期純利益率が7.5%となりました。なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、自動車・電池材料事業が好調に、第一事業、第二事業、第三事業が概ね前年同期並に推移したため増収となりました。
- ・営業利益については、売上高が増加したものの、主に販売費及び一般管理費の増加により減益となりました。
- ・経常利益については、持分法適用会社において収益が改善し、円安の影響等もあり増益となりました。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益については、上記要因の結果、増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」区分における事業の一部取引を「第三事業」に移管いたしました。

これに伴い、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

セグメントごとの主な事業及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業 無機薬品事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤、粘接着剤 合成樹脂原料、合成樹脂製品 無機薬品
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

① 第一事業

売上高は、427億2千2百万円と前年同期の3.3%にあたる13億6千4百万円の増収、セグメント利益につきましては、15億1千8百万円と前年同期の4.1%にあたる6千4百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、環境関連は前年同期並に推移しましたが、資源関連、金属関連は低調に推移しました。
- ・難燃剤事業は、前年度の需要増の反動により、低調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材、防水材は好調に推移したものの、内装材は前年同期並に推移しました。

② 第二事業

売上高は、493億5千6百万円と前年同期の0.8%にあたる3億7千5百万円の減収、セグメント利益につきましては、9億7千9百万円と前年同期の40.1%にあたる6億5千7百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・国内向けベースオイルは好調に推移したものの、添加剤は前年同期並に推移しました。また、海外向けベースオイル、添加剤は好調に推移しました。
- ・中国潤滑油事業は、産業機械潤滑油は好調に推移しましたが、冷凍機油は低調に推移しました。

上記に加えて、前連結会計年度において、計上した受取配当金の反動減も、セグメント利益減益の要因となりました。

③ 第三事業

売上高は、586億7千2百万円と前年同期の1.5%にあたる8億7千5百万円の減収、セグメント利益につきましては、10億9千7百万円と前年同期の1.0%にあたる1千1百万円の減益になりました。

これは主に各取引が以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・高性能素材事業は、印刷原材料は好調に推移したものの、フィルム製品は前年同期並に推移しました。
- ・機能化学品事業は、粘接着剤は前年同期並に推移したものの、製紙薬剤は低調に推移しました。
- ・合成樹脂事業は、合成樹脂原料、合成樹脂製品ともに前年同期並に推移しました。
- ・無機薬品事業は、好調に推移しました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、75億2千7百万円と前年同期の24.9%にあたる15億2百万円の増収、セグメント利益につきましては、3億7千3百万円と前年同期から18億6千2百万円の増益（前年同期は14億8千9百万円の損失）になりました。

これは主に以下のとおり推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社における収益が改善し、円安の影響等もあり増益になりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料販売が好調に推移しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、853億5千5百万円と前連結会計年度末の5.7%にあたる46億2千9百万円の増加となりました。また、負債は465億7千1百万円と前連結会計年度末の3.9%にあたる17億6千8百万円の増加、純資産は387億8千3百万円と前連結会計年度末の8.0%にあたる28億6千万円の増加となりました。

この結果、自己資本比率は44.9%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・総資産については、主に売上債権の増加により、流動資産が前連結会計年度末の5.8%にあたる36億7千7百万円の増加となったことによるものであります。
- ・負債については、主に仕入債務の増加により、流動負債が前連結会計年度末の3.7%にあたる14億8千9百万円の増加となったことによるものであります。
- ・純資産については、主に剰余金の増加により、利益剰余金が前連結会計年度末の7.8%にあたる17億4千8百万円の増加となったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,065	5,657	1,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	804	△202	△1,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,723	△4,346	△2,622
現金及び現金同等物の期末残高	8,352	9,528	1,175

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、95億2千8百万円と前年同期末の14.1%にあたる11億7千5百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の39.1%にあたる15億9千1百万円が増加し、56億5千7百万円の資金増となりました。

これは、税金等調整前当期純利益40億5千8百万円から非現金収支等を調整した後の資金の増加38億9千1百万円及び主に仕入債務の増加及び棚卸資産の減少による59億2千3百万円の資金増に対し、売上債権の増加による26億5千7百万円と法人税等の支払による14億9千5百万円の資金減が生じたことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期から10億7百万円が減少し、2億2百万円の資金減となりました。

これは、主に有形固定資産取得による2億2百万円の資金減が生じたことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の152.1%にあたる26億2千2百万円が減少し、43億4千6百万円の資金減となりました。

これは、主に借入れ返済による30億8千1百万円と配当金の支払による10億4千4百万円の資金減が生じたことによるものであります。

(4) 今後の見通し

① 次期の見通し

欧米諸国での金融引き締めや地政学的リスクの顕在化等の懸念材料があり、今後も先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

このような見通しの下、当社グループの次期業績につきましては、売上高は1,660億円（前年度比4.9%増）、営業利益は29億円（同2.4%減）、経常利益は38億円（同5.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益については26億円（同5.6%減）を見込んでおります。

なお、次期の見通しについては、現時点において入手可能な情報に基づき算出しておりますが、実際の業績は、景気動向、為替動向等、その他様々な要因により異なる可能性があります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2024年度見通し	166,000	2,900	3,800	2,600
2023年度実績	158,279	2,970	4,032	2,754
増減率	4.9%	△2.4%	△5.8%	△5.6%

② 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益配分につきましては、安定的かつ継続的に利益配分を行うこととしており、財務健全性を維持しつつ、連結配当性向50%を基本として、機動的な株主還元を行います。内部留保した資金につきましては、今後の事業展開と経営体質の強化のために有効に活用してまいります。

当期の期末配当につきましては、当該基本方針に基づいて、1株につき普通配当34円と致します。

また、次期の配当につきましては、1株当たり年間32円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内同業他社の適用動向及び外国人株主比率等を踏まえながら、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,418	9,597
受取手形、売掛金及び契約資産	36,260	38,303
電子記録債権	9,421	10,601
商品	8,721	8,070
その他	869	817
貸倒引当金	△224	△245
流動資産合計	63,466	67,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	688	627
機械装置及び運搬具（純額）	120	124
工具、器具及び備品（純額）	37	30
土地	220	452
リース資産（純額）	12	131
有形固定資産合計	1,079	1,366
無形固定資産		
ソフトウェア	131	98
その他	10	11
無形固定資産合計	141	110
投資その他の資産		
投資有価証券	14,911	15,729
長期貸付金	10	5
繰延税金資産	182	73
その他	956	970
貸倒引当金	△22	△44
投資その他の資産合計	16,038	16,734
固定資産合計	17,258	18,210
資産合計	80,725	85,355

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,289	30,504
電子記録債務	4,127	5,238
短期借入金	7,258	4,296
1年内返済予定の長期借入金	590	20
リース債務	12	2
未払法人税等	880	465
賞与引当金	703	807
役員賞与引当金	—	19
その他	717	716
流動負債合計	40,579	42,069
固定負債		
長期借入金	87	541
リース債務	—	128
繰延税金負債	2,096	2,046
株式報酬引当金	—	18
退職給付に係る負債	847	559
その他	1,192	1,206
固定負債合計	4,223	4,502
負債合計	44,803	46,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	22,370	24,118
自己株式	△4	△146
株主資本合計	29,151	30,757
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,124	4,134
繰延ヘッジ損益	△3	△3
為替換算調整勘定	2,313	3,356
退職給付に係る調整累計額	△110	60
その他の包括利益累計額合計	6,323	7,548
非支配株主持分	447	476
純資産合計	35,922	38,783
負債純資産合計	80,725	85,355

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	156,662	158,279
売上原価	144,960	146,724
売上総利益	11,702	11,554
販売費及び一般管理費	8,046	8,584
営業利益	3,655	2,970
営業外収益		
受取配当金	651	308
持分法による投資利益	—	605
その他	259	263
営業外収益合計	910	1,177
営業外費用		
支払利息	133	73
持分法による投資損失	1,140	—
その他	123	41
営業外費用合計	1,397	115
経常利益	3,169	4,032
特別利益		
投資有価証券売却益	10	27
負ののれん発生益	30	—
その他	0	0
特別利益合計	41	27
特別損失		
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	3	—
その他	—	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前当期純利益	3,206	4,058
法人税、住民税及び事業税	1,461	1,128
法人税等調整額	△50	128
法人税等合計	1,411	1,257
当期純利益	1,795	2,801
非支配株主に帰属する当期純利益	74	46
親会社株主に帰属する当期純利益	1,720	2,754

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1,795	2,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	516	△322
繰延ヘッジ損益	△20	0
為替換算調整勘定	121	570
退職給付に係る調整額	71	177
持分法適用会社に対する持分相当額	390	799
その他の包括利益合計	1,079	1,226
包括利益	2,875	4,027
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,801	3,979
非支配株主に係る包括利益	73	48

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,024	2,761	23,655	△4	30,437
当期変動額					
剰余金の配当			△3,006		△3,006
親会社株主に帰属する当期純利益			1,720		1,720
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,285	△0	△1,286
当期末残高	4,024	2,761	22,370	△4	29,151

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	3,642	17	1,770	△186	5,242	287	35,967
当期変動額							
剰余金の配当							△3,006
親会社株主に帰属する当期純利益							1,720
自己株式の取得							△0
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う変動							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	482	△20	543	75	1,080	160	1,240
当期変動額合計	482	△20	543	75	1,080	160	△45
当期末残高	4,124	△3	2,313	△110	6,323	447	35,922

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,024	2,761	22,370	△4	29,151
当期変動額					
剰余金の配当			△1,044		△1,044
親会社株主に帰属する当期純利益			2,754		2,754
自己株式の取得				△142	△142
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う変動			38		38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,748	△142	1,606
当期末残高	4,024	2,761	24,118	△146	30,757

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,124	△3	2,313	△110	6,323	447	35,922
当期変動額							
剰余金の配当							△1,044
親会社株主に帰属する当期純利益							2,754
自己株式の取得							△142
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う変動							38
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	10	0	1,043	170	1,224	29	1,254
当期変動額合計	10	0	1,043	170	1,224	29	2,860
当期末残高	4,134	△3	3,356	60	7,548	476	38,783

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,206	4,058
減価償却費	255	255
持分法による投資損益 (△は益)	1,155	△534
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	40
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	49	△31
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△307	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	15	97
受取利息及び受取配当金	△677	△338
支払利息	133	73
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	△27
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3
固定資産売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△223	△2,657
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△857	932
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,731	4,991
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	137	27
その他投資等の増減額 (△は増加)	35	△11
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	43	△20
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	1	32
負ののれん発生益	△30	—
その他	107	△35
小計	4,760	6,855
利息及び配当金の受取額	575	373
利息の支払額	△133	△75
法人税等の支払額	△1,136	△1,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,065	5,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500	—
定期預金の預入による支出	△57	△57
定期預金の払戻による収入	57	57
投資有価証券の取得による支出	△178	△7
投資有価証券の売却による収入	80	30
有形固定資産の取得による支出	△46	△202
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△4	△25
短期貸付けによる支出	△321	△194
短期貸付金の回収による収入	310	196
長期貸付けによる支出	△16	—
長期貸付金の回収による収入	6	5
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	477	—
その他	△3	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	804	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,288	△2,966
長期借入れによる収入	100	500
長期借入金の返済による支出	△31	△615
配当金の支払額	△3,006	△1,044
自己株式の取得による支出	△0	△142
非支配株主への配当金の支払額	△24	△18
その他	△49	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,723	△4,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	50
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,097	1,158
現金及び現金同等物の期首残高	5,255	8,352
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	17
現金及び現金同等物の期末残高	8,352	9,528

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容、取扱商品の特長及び市場の類似性等を軸として区分された事業部門を置いており、事業部門毎に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業部門を基礎とした事業別セグメントから構成されており、「第一事業」、「第二事業」、「第三事業」及び「自動車・電池材料事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

セグメントの名称	主な事業	主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業 無機薬品事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤、粘接着剤 合成樹脂原料、合成樹脂製品 無機薬品
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、報告セグメントに含まれない事業セグメントである「その他」区分における事業の一部取引を「第三事業」に移管いたしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 経営成績等の概況」をご参照ください。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	37,517	5,219	55,874	2,331	100,943	0	100,943
中国	1,137	42,540	1,705	3,339	48,722	—	48,722
その他	2,702	1,971	1,968	353	6,996	0	6,997
顧客との契約から生じる 収益	41,357	49,731	59,548	6,024	156,662	0	156,662
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	41,357	49,731	59,548	6,024	156,662	0	156,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	140	16	—	210	—	210
計	41,411	49,871	59,564	6,024	156,872	0	156,873
セグメント利益 又は損失(△)	1,583	1,637	1,108	△1,489	2,840	△40	2,799
セグメント資産	18,137	13,962	31,691	8,269	72,059	101	72,161
その他の項目							
減価償却費	43	1	84	0	129	0	129
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—
受取利息	3	1	3	0	8	0	8
支払利息	78	32	97	18	226	0	226
持分法投資利益 又は損失(△)	9	—	—	△1,149	△1,140	—	△1,140
持分法適用会社への 投資額	53	—	—	7,005	7,059	—	7,059
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	21	3	17	—	42	—	42

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	38,422	5,645	54,944	2,051	101,064	—	101,064
中国	1,735	41,840	1,959	5,371	50,907	—	50,907
その他	2,563	1,870	1,768	104	6,308	0	6,308
顧客との契約から生じる 収益	42,722	49,356	58,672	7,527	158,279	0	158,279
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	42,722	49,356	58,672	7,527	158,279	0	158,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	134	17	—	190	—	190
計	42,760	49,490	58,690	7,527	158,469	0	158,470
セグメント利益 又は損失(△)	1,518	979	1,097	373	3,969	△150	3,819
セグメント資産	18,467	14,465	31,961	10,719	75,613	99	75,712
その他の項目							
減価償却費	48	1	83	0	133	0	133
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—
受取利息	0	1	2	0	4	0	4
支払利息	51	22	93	16	183	1	185
持分法投資利益 又は損失(△)	△8	—	—	613	605	—	605
持分法適用会社への 投資額	39	—	—	8,351	8,390	—	8,390
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	15	—	199	—	214	—	214

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	156,872	158,469
「その他」の区分の売上高	0	0
セグメント間取引消去	△210	△190
連結財務諸表の売上高	156,662	158,279

(単位：百万円)

利益又は損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,840	3,969
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△40	△150
セグメント間取引消去	△75	△84
全社費用(注)	445	297
連結財務諸表の経常利益	3,169	4,032

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	72,059	75,613
「その他」の区分の資産	101	99
セグメント間取引消去	△8	△5
全社資産(注)	8,572	9,647
連結財務諸表の資産合計	80,725	85,355

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社資産であり、その主なものは、当社での現金及び預金、有価証券、管理部門に係る資産であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	129	133	0	0	126	121	255	255
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	—
受取利息	8	4	0	0	17	24	26	29
支払利息	226	183	0	1	△93	△112	133	73
持分法投資利益又は損失(△)	△1,140	605	—	—	—	—	△1,140	605
持分法適用会社への投資額	7,059	8,390	—	—	—	—	7,059	8,390
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	42	214	—	—	9	207	51	422

- (注) 1. 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社経費であります。
 2. 受取利息の調整額は、各報告セグメントに配分していない本社受取利息等であります。
 3. 支払利息の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、以下のとおりであります。
 (前連結会計年度) 主に機械及び装置
 (当連結会計年度) 主にリース資産

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
100,943	48,722	6,997	156,662

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
101,064	50,907	6,308	158,279

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	その他	合計
1,208	144	13	1,366

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

第三事業において株式会社アケアの株式を取得し連結子会社化いたしました。これに伴い当連結会計年度において、30百万円の負ののれん発生益を計上しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	849.44円	921.98円
1株当たり当期純利益	41.21円	66.09円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,720	2,754
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,720	2,754
普通株式の期中平均株式数(千株)	41,763	41,676

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	35,922	38,783
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	447	476
(非支配株主持分(百万円))	(447)	(476)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	35,475	38,306
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	41,763	41,547

(重要な後発事象)

該当事項はありません。